

104-155

問題文

レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系に作用する薬物に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. アンジオテンシンIIAT₁ 受容体を遮断する薬物は、副腎皮質球状層からのアルドステロン分泌量を減少させる。
2. キニナーゼIIを阻害する薬物は、血中のブラジキニン量を増加させる。
3. レニンを阻害する薬物は、血中のブラジキニン量を増加させる。
4. アドレナリンβ₁ 受容体を遮断する薬物は、傍糸球体細胞からのレニンの分泌量を増加させる。
5. アンジオテンシン変換酵素を阻害する薬物は、血中のレニン量を減少させる。

解答

1, 2

解説

選択肢 1,2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが

レニン阻害は、ブラジキニン増加を引き起こしません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが

β 遮断でレニン分泌は抑制です。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが

フィードバック機構により、血中レニン濃度、血中レニン活性は上昇すると考えられます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。

類題